

経営比較分析表（平成30年度決算）

岐阜県 養老町

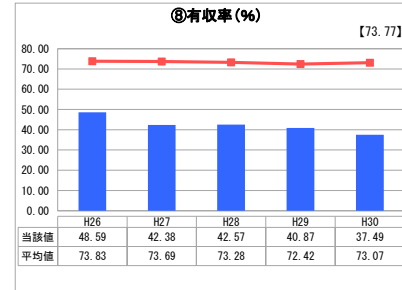
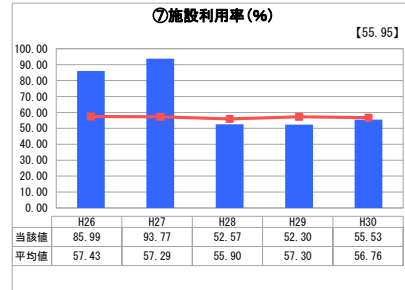
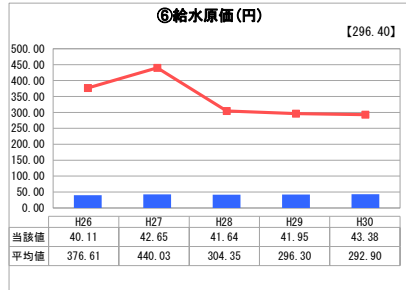
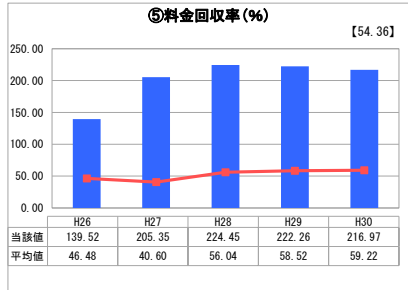
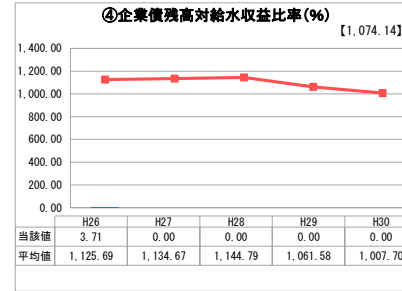
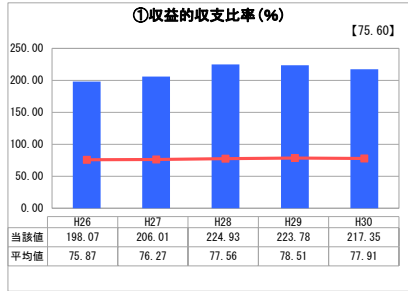
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	7.25	1,600	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
29,121	72.29	402.84
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,098	15.00	139.87

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

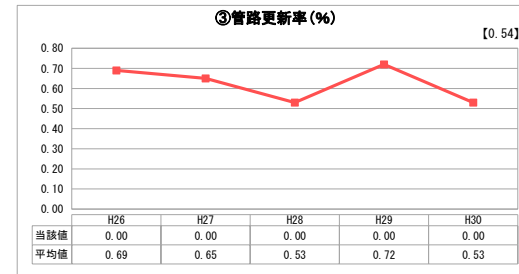
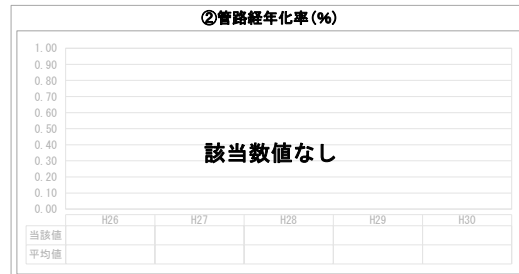
1. 経営の健全性・効率性について

経営状況は、昨年度とあまり変わりがなく、収益的収支比率をみると100%を上回っており、本年度も単年度の収支は黒字となっています。料金回収率についても100%を上回っており、給水に係る費用は料金収入によって全て賸われています。また、給水原価は類似団体より低くなっており、これは、特に大きな修繕工事等がなく支出が抑えられたことが要因だと考えられます。施設利用率は類似団体とあまり変わりがないのですが、有収率が低く収益に結びついていない状況です。この原因として埋設管等の漏水などの無効水量が考えられ、有収率の低下を防ぐためにも漏水の早期発見、修繕に努めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

事業開始からおよそ45年が経過しており、施設等の老朽化が進んできていますが、令和6年4月から上水道へ統合するため、施設等の更新工事や大規模な改修工事を行う予定はありません。そのため、上水道への移行が完了するまでは、安全で安心な水を供給できるよう、施設の定期的な点検や必要に応じて修繕を行い、適切な維持管理に努めていく必要があります。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営状況は比較的に安定していますが、施設や埋設管の老朽化が顕著に表れています。しかし、令和6年4月から上水道へ統合するため、新たな施設や埋設管などの更新工事を行う予定はありません。そのため、施設や埋設管の老朽化に伴い修繕費等の増加が考えられることから、統合までの間、安全に水を供給できるよう経費の削減に取り組み、健全性が保てるように努めていきます。